

項目	内容
名称	マヌカ、ギョリュウバイ、ネズモドキ [英]Manuka [学名]Leptospermum scoparium
概要	マヌカはニュージーランド原産のフトモモ科の低木で、ギョリュウバイ、ネズモドキとも呼ばれる。マヌカの花蜜を原料とするハチミツはマヌカハニーと呼ばれ、ニュージーランドの主要輸出品の1つとなっている。マヌカハニーの抗菌活性成分とされるメチルグリオキサールはジヒドロキシアセトンより生成されるが、ジヒドロキシアセトン含量は一定ではなく、また保存状態によってこれらの成分含量は変化する。食品として販売されているマヌカハニーは滅菌などの処理が行われていないため、治療目的で使用するべきではない。 マヌカハニー以外の花蜜はハチミツのページを参照のこと。
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」にも該当しない。</p> <p>・ニュージーランド一次産業省 (Ministry for Primary Industries) が、食品として流通するマヌカハニーの品質に関するガイドラインを策定している (101)。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・ニュージーランド一次産業省のガイドラインでは、4種の成分 (3-フェニル乳酸、2'-メトキシアセトフェノン、2-メトキシ安息香酸、4-ヒドロキシフェニル乳酸) を一定量以上、かつマヌカの花粉由来のDNAを含有することがマヌカハニーの条件としている (101)。</p> <p>・花蜜にはジヒドロキシアセトンが含まれ、保存中にメチルグリオキサールに変換される (101)。</p>
分析法	<p>・花蜜中のジヒドロキシアセトンをガスクロマトグラフィーで分析した報告がある (PMID:25277074)。</p> <p>・マヌカハニー中の3-フェニル乳酸、2'-メトキシアセトフェノン、2-メトキシ安息香酸、4-ヒドロキシフェニル乳酸をHPLC-MS/MSで分析した報告がある (101)。</p> <p>・マヌカハニー中の過酸化水素、ジヒドロキシアセトン、メチルグリオキサール、フルクトース、グルコースを化学発光HPLCで分析した報告がある (PMID:28081810)。</p> <p>・マヌカハニー中のフラボノイドをHPLCで分析した報告がある (PMID:23870890)。</p>

有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
で の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (101) ニュージーランド一次産業省webサイト
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
[\(PMID:25277074\) J Agric Food Chem. 2014 Oct 22;62\(42\):10332-40.](#)
[\(PMID:28081810\) Anal Chim Acta. 2017 Feb 15;954:151-158.](#)
[\(PMID:23870890\) Food Chem. 2013 Dec 1;141\(3\):1772-81.](#)
(2019300652) 喉頭. 2019;31(1):23-27.
-